

R. Y. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

小学 4 年生から K-POP アイドル（アーティスト）を好きになり、音楽番組やコンテンツなどで韓国語に触れる機会が増えました。また、母と韓国旅行に行くなどして、より韓国への関心が高まり、「いつか住んでみたい」と心の底から思うようになりました。私は同志社女子大学では英語英文学科に所属していますが、「韓国で住んでみたい」という気持ちに加えて、「もっと韓国語を理解して、話せるようになりたい」という想いがあったため、韓国留学を考え始めました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

私は好きなアーティストの曲やコンテンツ、ライブ配信を繰り返し視聴していました。その中で以下の取り組みは、楽しみながら自然に韓国語を学ぶ機会となり、無意識のうちに語学学習の継続や、出願に必要な TOPIK の取得に向けた効果的な学習にもつながったと感じています。

- ・韓国のネットニュース記事や、韓国アーティストの曲の歌詞の中で、知らなかった表現や言葉をメモしておき、調べる
- ・動画コンテンツを字幕なしで鑑賞し、少しずつ理解できる言葉を日常的に増やす

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

YouTube など韓国語の動画やニュースを観て、わからない単語や文法を調べました。

◆ ビザ申請方法

私は記入間違いなどが不安だったので、ビザ申請の代行がおすすめと聞き、代行をお願いしました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

金浦空港からタクシーを事前に予約しました。大体 1 時間程度で到着し、料金は 4,000 円程度でした。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

生活必需品などの備品の購入をしました。

◆ その他必要な諸手続き方法

口座の開設は外国人証明書を取得してから行いました。

寮の費用の支払いは、確か到着した翌日に学校の近くの銀行で行いました。2 人部屋で約 170 万ウォン（18 万 7 千円/学期）でした。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学堂の教室は大学のキャンパス内にあったため、休み時間はコンビニやカフェで飲み物をすぐ買うことができました。

◆ 授業内容、課題、試験

語学堂は月曜日から金曜日、9 時から 13 時までの 4 時間授業で、50 分授業を受けて 10 分休憩という形でした。少人数で 20 名ほどのクラスです。国籍はモンゴル、ベトナム、ミャンマーなど多国籍な学生が集まっていました。日本人は 1 クラスに 1 人程度で、韓国語を使う絶好の環境でした。読解、聞き取り、筆記、スピーキングすべて行うので、TOPIK の対策にとっても効果的だと思います。4 限の時間から大学での正規科目の授業が入っている場合は語学堂を途中から抜けることができるのですが、その分語学堂が早退・欠席扱いにならないよう、スケジュール管理に気を付ける必要がありました。

また、語学堂では文化体験イベントがあり、私の時はチマチョゴリを着たり、市場で食事をしたりする体験をしました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

キャンパスは坂の上に位置していたため、通学が少し大変でした。しかし、施設は広すぎることなく、学内の移動はしやすかったです。また、コンビニやカフェに食堂、ハンバーガー屋さんなどがとても充実しており、食事に困ることはありませんでした。さらに、睡眠室など学生向けの施設も整備されており、多くの学生が利用していました。

◆ 履修科目について

・「オースティンとブロンテの小説の世界」

授業内容：ジェイン・オースティンの「ノーサンガー・アビー」とエミリー・ブロンテの「嵐が丘」について勉強しました。事前にオンデマンドで 60 分～80 分ほどの映像授業をみて、小説についての内容に触れ、要点を理解しておき、対面授業では映像授業についてのおさらいの問題をグループワークで現地の学生と一緒に解きました。この授業は、留学生は私しかいませんでした。専門用語が多く、聞き取りに苦労しましたが、事前に映像授業で単語を調べたり、添付してくださるスライドを参照に勉強したりすると良いと思います。

課題・試験内容：定期試験の 1 週間前は先生が出した問題について答える発表を 2 人～3 人で行います。定期試験は発表の問題に類似した問題が 4 問ほど出され、論述形式で答えます。英語か韓国語、または 2 か国語混ぜて回答することができます。

・「東アジア文化とコンテンツ」

授業内容：留学生だけが受講できる授業です。韓国の文化（音楽やエンタメ、食事や美容）などに触れつつ、ほかの国の学生と自分の文化と比較して、類似点を見つけるなどしました。授業では先生いきなり質問されることもあったので、韓国語が全然できないという学生は大変そうでした。

課題・試験内容：初日から班が決められており（10 班ほど）1 班ずつそれぞれのお題について、自分の国の文化と韓国の文化を比較しながら発表をしました。私の班は「K-POP の生態系」についての発表をしました。テストでは、中間テストと期末試験がありました。授業内で使用したテキスト内の単語や内容など、様々でテストの出題内容の予測が難しかったです。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

大学の国際交流サークル「SWIN」に所属していました。そこでは留学生と現地の学生の交流が行われていました。サムギョプサルパーティーや漢江でのピクニック、韓国の伝統工芸品作り体験など、様々な体験ができました。所属する現地の学生は、日本語を勉強している方や日本に関心のある方が多かったので、すぐ仲良くできました。現地の友人を作りたいならサークルに所属するのがおすすめです。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 語学研修、正規科目履修期間

2 人部屋の寮で生活していました。ルームメイトは日本人で、可能な限り同じ国籍同士になるように配慮されていると感じました。寮には個人の部屋のようなものではなく、トイレ・シャワー、キッチンそれぞれの部屋に完備されていました。また、ウォーターサーバーと電子レンジは各階のフロアにありました。しかし別の寮では、ウォーターサーバーは設置されていなかったようでした。食事は主に自炊をしていました。寮から大学までは 5 分～10 分程の距離でした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

1 セメスターのため、長期休暇はありませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

まだ本格的な就職活動は行っていませんでしたが、韓国語を使う仕事も視野に入れ始め、関

心を持ち始めました。そのため、実際に韓国で働いている日本人の方々の動画を視聴し、情報収集を行っていました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

たくさんありますが、多くの人と親しくなることができて良かったです。また、好きなアーティストのコンサートやイベントにたくさん参加できたことも、留学生活の中で特に印象に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

最も苦労したのは、正規授業です。受講した授業の先生が、英語と韓国語を交えながらお話しされるので少し聞き取りが難しかったです。また、授業の内容に知らない単語が多かったため、予習の段階でオンデマンドの映像を何度も止めて単語を調べる必要があったため、理解したり課題をこなしたりすることにとっても時間がかかりました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

歩いていても避ける気がなく正面からぶつかってくるような方が多くて驚きました。しかし、周りの人などは全員親切で、人間関係に悩むことはありませんでした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

少人数制で学生が多い大学ではなかったので、学生へのサポートがしっかりしていました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、iPad を持参しました。また私は肩こりがひどいのでロイヒ（貼り薬）を持って行って良かったです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学の成果として、韓国語を聞き取りやすくなりました。現地の人と話すのが効果的だったと思います。また、留学前と後で変わったことは、自分の意見をはっきり言えるようになったことだと思います。コミュニケーション力も上がったと感じています。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

もし留学するための条件が揃っているものの、行くかどうかを迷っている状況なら、思い切って留学してみることをお勧めします。また、韓国の雑貨や食べ物、アーティストなどが好

きな方は、現地での出費が思ったよりかさむことが考えられます。そのため留学前にある程度貯金（準備）をしておくにより充実した留学生活を送ることができると思います。

IV. 将来の目標

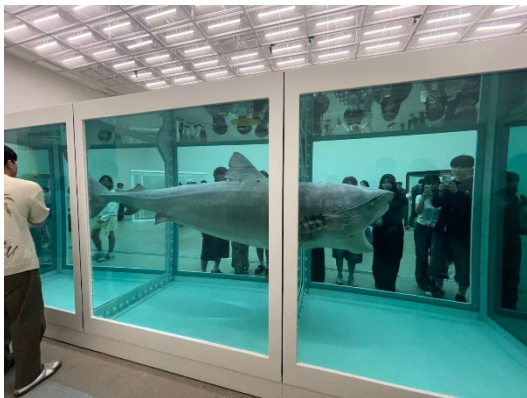
今後の進路、将来の目標・夢

日本語だけでなく、韓国語を使用できるような職業に就きたいです。（CA や韓国企業の日本支社など）

V. 写真



写真は学食のユッケビビンバです。大学には食堂が 2 か所あるのですが、その中でもフードコートのように複数の店舗から好きな料理を選んで注文できる食堂が好きでした。特にこのユッケビビンバを気に入って毎回注文して食べていました。

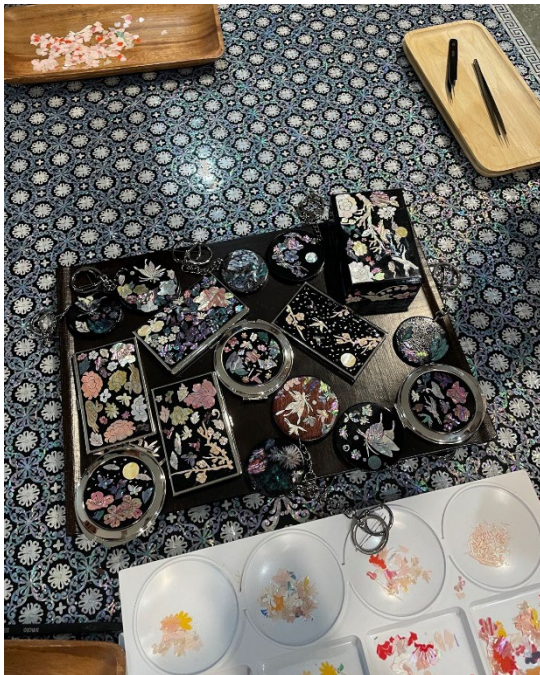


現地の友人と安国という場所にある美術館に行った時の写真です。安国は少し古風な建物が多く、落ち着いた雰囲気があります。可愛いカフェもたくさんありました。バスで 20 分もかからないので、息抜きに行くのにいいと思います。

2026 年度（春スタート・1 セメスター）
誠信女子大学



日本から遊びに来てくれた友人と、好きなアーティストの誕生日ケーキを食べにカフェに行った時の写真です。韓国では日本にいる時以上に、好きなものを身近に感じることができました。



大学の国際交流サークルで韓国の伝統工芸品作り体験をした時の写真です。貝を薄く削った素材を使用して制作したものです。